

令和2年1月14日

## データサイエンス・オンライン講座 「誰でも使える統計オープンデータ」の開講

総務省は、本日、将来の経済成長を担う“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組として、データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」を開講します。

本講座は、社会人・大学生に統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を分かりやすく解説します。

- 本日、データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」を開講します。
- 本講座は、政府統計の総合窓口である e-Stat、総務省及び（独）統計センターが提供する統計 GIS、API 機能等を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の手法を学ぶことができる内容となっています。
- 本講座紹介用ウェブサイト (<https://gacco.org/stat-japan3/>) から、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御活用ください。

※ 本講座は、平成30年12月に実施した講座を再び開講するものです。

※ 「政府統計の総合窓口（e-Stat）」のリニューアル（令和元年5月1日）に伴い、講義の一部を更新しています。

※ 特別講義として、主要な統計データをグラフ等に加工し、視覚的に分かりやすく、簡単に利用できる形で提供する「統計ダッシュボード」（<https://dashboard.e-stat.go.jp/>）の使い方を解説しています。

（別添資料）

別紙 データサイエンス・オンライン講座「誰でも使える統計オープンデータ」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：本橋課長補佐 桑原係長

電話：03-5273-1023（直通）

FAX：03-3204-9361

E-mail：y-senryaku\_atmark\_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しています。メールを送る際に「\_atmark\_」を「@」に直して入力してください。）

講座の目的：e-Stat（政府統計の総合窓口）※1、統計GIS※2、API機能※3を使い、統計オープンデータを活用したデータ分析の基本的な知識を習得する

開 講 日：令和2年1月14日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～7回程度（1週間）×4週

課 題：各週の確認テストと最終課題の実施

講 師：西内啓氏（統計家）、小谷祐一郎氏（「GEEQ※4」開発者）、  
総務省統計局及び（独）統計センター職員



週	各週のテーマ	内 容
1	e-Stat※1を使ったデータ分析	e-Stat※1の統計データを活用したデータ分析の事例を学ぶ（e-Stat※1の機能紹介、活用事例紹介等）
2	公的統計データの使い方	公的統計データの基本事項及び読み方を学ぶ（公的統計の種類と体系、労働力調査・家計調査の基礎知識及び利用の際のポイント等）
3	統計GIS※2の活用	統計データと地図を組み合わせた統計GIS※2の活用方法を学ぶ（jSTAT MAPの機能紹介、簡単にできるレポート作成、活用事例紹介等）
4	統計オープンデータの高度利用	統計API機能※3の仕組みや具体的な活用事例等の統計オープンデータの高度な活用方法を学ぶ（統計APIの仕組み、統計オープンデータの活用事例、講座のまとめ等）

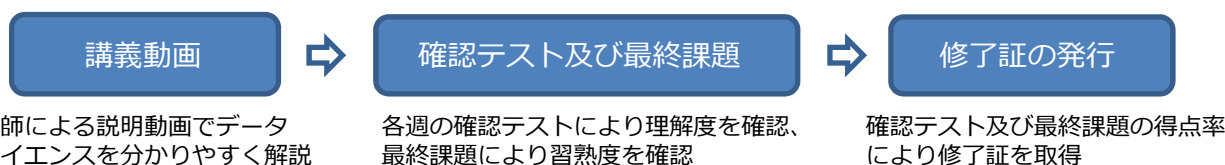
※1 令和元年5月のリニューアルを反映させた講義内容

※2 地図で見る統計（jSTAT MAP）

※3 プログラムが自動でデータを取得できるようになる機能

※4 「GEEQ（ジーオ）」は不動産販売価格予測サイト

### ▶ 講座の流れ



### ▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

**「社会人のためのデータサイエンス入門」**

（講座の特徴）  
データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

（開 講 時 期）  
平成27年3月、11月  
平成28年3月※、12月  
平成29年5月※  
平成30年5月、11月※  
平成31年4月※  
令和元年10月、12月※

（学 習 時 間）  
1回10分程度×6～9回程度  
（1週間）×4週

（実 績）  
社会人を中心に延べ  
約85,000人が受講

**「社会人のためのデータサイエンス演習」**

（講座の特徴）  
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

（開 講 時 期）  
平成28年4月、11月※  
平成29年11月  
平成30年6月※  
令和元年5月、10月※

（学 習 時 間）  
1回10分程度×5～6回程度  
（1週間）×5週

（実 績）  
社会人を中心に延べ  
約39,000人が受講

**「誰でも使える統計オープンデータ」**

（講座の特徴）  
公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

（開 講 時 期）  
平成29年6月、10月※  
平成30年12月

（学 習 時 間）  
1回10分程度×5～7回程度  
（1週間）×4週

（実 績）  
社会人を中心に延べ  
約15,000人が受講

※特別開講：参考として動画の閲覧のみ可能な講座